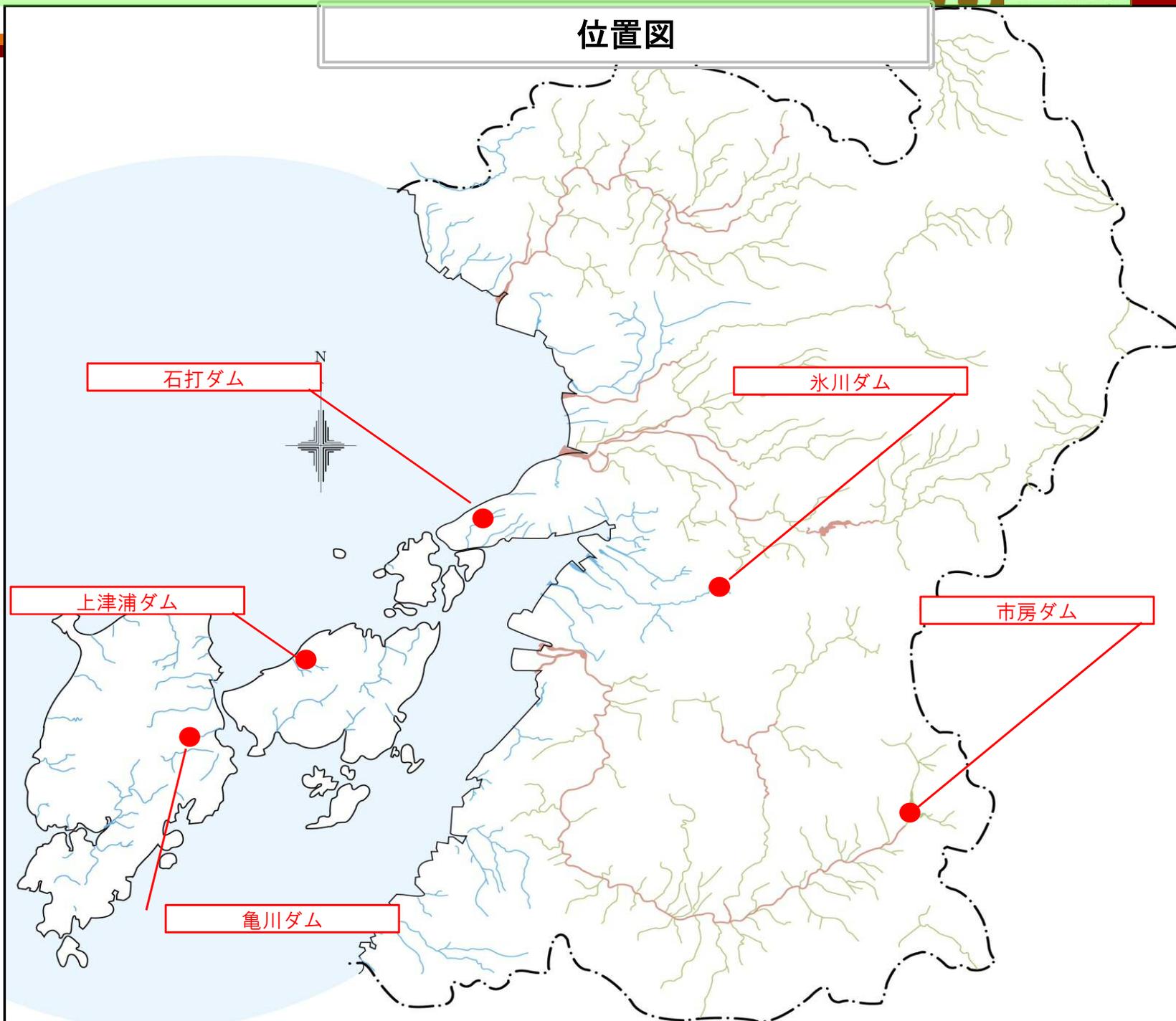


# 7月6日からの豪雨に関する対応について

## 位置図



# 【7月6日～14日 梅雨前線豪雨】 県管理の5つのダムで洪水調節を行いました



熊本県

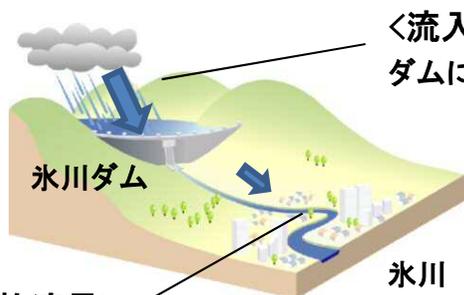
## ○洪水調節を行ったダム

ダム名	河川名	ダム設置場所	最大流入量	最大放流量	調節流量	下流河川の水位低下効果	観測日時
市房ダム	一級河川 球磨川	球磨郡 水上村	541 m <sup>3</sup> /s	344 m <sup>3</sup> /s	197 m <sup>3</sup> /s	↓ 43 cm (多良木水位局)	13日 20時頃
氷川ダム	二級河川 氷川	八代市 泉町	316 m <sup>3</sup> /s	150 m <sup>3</sup> /s	166 m <sup>3</sup> /s	↓ 63 cm (立神水位局)	13日 19時頃
石打ダム	二級河川 波多川	宇城市 三角町	8 m <sup>3</sup> /s	4 m <sup>3</sup> /s	4 m <sup>3</sup> /s	↓ 7 cm (波多川水位局)	13日 23時頃
亀川ダム	二級河川 亀川	天草市 伊土町	36 m <sup>3</sup> /s	27 m <sup>3</sup> /s	9 m <sup>3</sup> /s	↓ 15 cm (通山水位局)	13日 19時頃
上津浦ダム	二級河川 上津浦川	天草市 有明町	6 m <sup>3</sup> /s	2 m <sup>3</sup> /s	4 m <sup>3</sup> /s	↓ 15 cm (谷合橋水位局)	13日 18時頃

※本発表における数値は速報値です。最終的に整理される数値とは異なる場合があります。

## ○洪水調節と河川水位低下効果(氷川ダムの例)

ダム操作(洪水調節)により、流入量の53%にあたる166m<sup>3</sup>/秒を貯留し下流河川の水位を低減しました



＜流入量＞

ダムに流れてくる水量 = 316m<sup>3</sup>/秒

流入量と放流量の差をダムに貯留(166m<sup>3</sup>/秒)

＜放流量＞

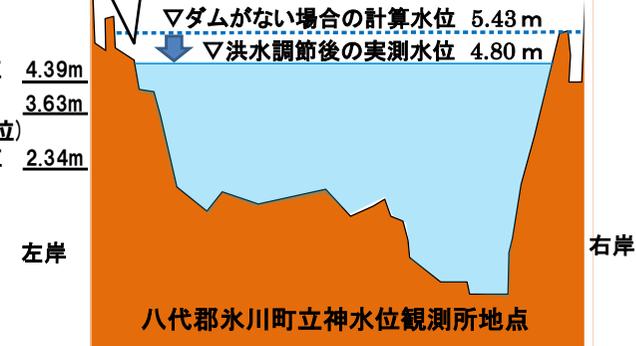
下流の河川に流す水量 = 150m<sup>3</sup>/秒

＜立神水位局の水位＞



ダムにより63cm低下

危険 ↑ はん濫危険水位 4.39m  
警戒 ↑ 避難判断水位 3.63m (はん濫注意水位)  
水防団待機水位 2.34m



＜参考＞7月6日～14日の雨の降り方

### ●【市房ダム】

ダム上流の湯山雨量局では時間雨量58mm、降り始めからの総雨量652mm  
(球磨郡水上村) (13日19時～20時)

### ●【氷川ダム】

ダム上流の岩奥雨量局では時間雨量54mm、降り始めからの総雨量505mm  
(八代市泉町) (13日17時～18時)

(氷川ダム上流 岩奥雨量局の降雨実績)

